

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

島根県

●地域における現状・課題

- 公立中学校の部活動の地域連携・地域移行は、島根県のようなほとんどの地域が中山間地域・離島である地方にとっては、人材や受け皿の確保がより困難であり、また、活動拠点や移動手段といった課題も多いことから、県全体で一律に推し進めていくことは難しい状況である。県内19市町村のうち、地域移行等に係る協議会や検討会等を設置している市町村は4市町村、推進計画を策定している市町村は2市町村にとどまり、全国の状況と比べると低い割合となっている。
- 公立中学校の設置者である市町村は、それぞれの実情に応じ、主体的に学校部活動単位で方向性等を検討し始めており、県としては各種情報提供や地域人材の活用等の支援を行うことで、地域移行・地域連携に取り組もうとしている市町村を支援し、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会や環境を整備していく必要があると考える。

●取組事項の概要

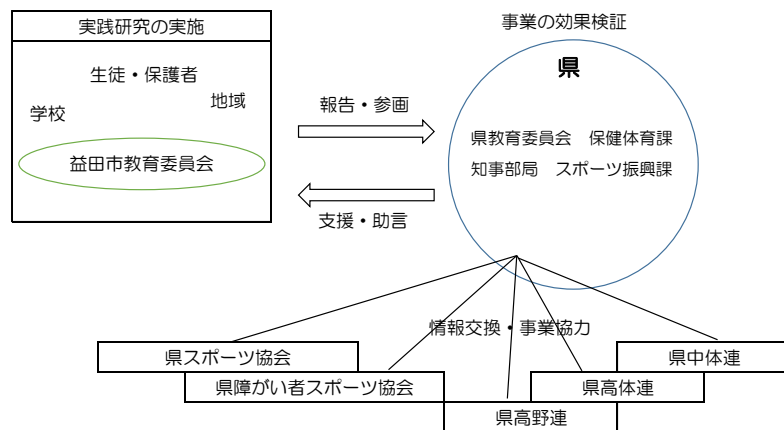
- 部活動指導員等の外部指導者の更なる確保や、地域スポーツクラブ活動での指導者を確保する仕組みの構築につなげるため、部活動指導員等の公募期間を拡大
- 県スポーツ振興課と連携をはかり、市町村が地域移行を進める際に生じるであろう課題等について検討を行うため、地域移行検討会議を開催した。

●取組の成果、特に工夫した点等

- 部活動指導員等については、各学校において教員が探してくるような状況であったが、新たな人材確保の方法により外部からの問い合わせが増え、部活動指導員や地域指導者のすそ野が広がった。
- 地域移行検討会議を通じて、部活動の地域移行・地域連携を進めていくことの課題（受け皿の確保等）について、首長部局との共通認識を図ることができた。
また、部活動地域移行市町村連絡会議において、県として一体となって地域移行・地域連携に向かう姿勢や、県の方針について示すことができた。

●運営体制図

地域スポーツクラブ活動体制整備事業推進体制（イメージ図）



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

島根県益田市

●地域における現状・課題

- ・本市の中学校生徒数は、ここ20年間で30%以上減少しており、今後の減少率はさらに加速する状況にある。
- ・生徒の求める部活動を開設できなかつたり、専門性のある教員が不足していたりする現状がある。また、部活動指導が教職員の超過勤務の大きな要因となっている。
- ・地域活動の受け皿、指導者が不足している。また市域が広く、公共交通機関が不足気味のため、生徒の移動手段と範囲が限られている。

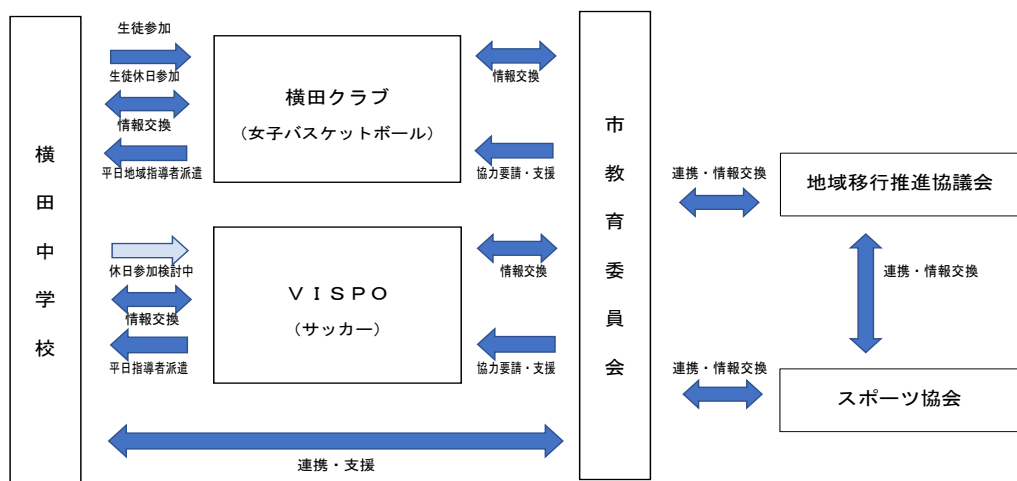
●取組事項の概要

- ・横田中学校を拠点校とし、サッカー部、女子バスケットボール部を対象に地域移行に向けた実証事業に取り組んだ。令和9年度までに休日の地域移行を完了させることで、校区小学生、中学校生徒、保護者、地域の共通理解を得ている。
- ・学校と地域クラブ指導者が地域移行に関する共通の理念をもち、地域移行への道筋をつける共通理解を図っている。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・指導者の専門的な指導力や技能の高さ、生徒との関係性の良さは、モチベーションを高め、自主性や連帯感の育成につながっている。
- ・地域指導者と学校間で、活動計画や生徒の状況等を共有するとともに、平日の活動にも地域クラブ指導者が関わっていただくようになっている。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：横田クラブ
- (3) 種目：女子バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：地域クラブ活動
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：14回
- (6) 主な活動場所：横田中学校体育館
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：31,800円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒1,450円/指導者0円